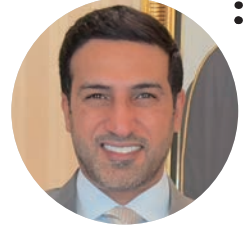


“Qatar-Japan Partnership: A Future of Shared Innovation and Sustainable Growth”

「カタールと日本のパートナーシップ： イノベーションと持続可能な成長を共に享受する未来」



本邦駐箚カタール国大使 H.E. Mr. Jaber Jaralla AL-MARRI

パートナーシップと成長の礎を築く

カタールと日本の長年にわたる関係は、強靱さ、相互尊重、そして共有する大志のよき見本といえます。外交関係が確立されてから半世紀以上経ちますが、日本はカタールの発展、特にエネルギー、インフラ、技術の分野で重要な役割を果たしてきました。私たちは、誠実さ、文化への敬意、そして繁栄ある未来への前向きなビジョンという価値観を共有していますが、それを意義のあるパートナーシップとして今後も引き続き、築くための堅固な基盤としたうえで、次世代の若者たちが繁栄を享受し、世界の進歩に貢献できるよう道を拓いています。

経済パートナーシップの繁栄

中東諸国の中でカタールは、経済的に成功を収め、かつ長期的に安定したパートナーシップを築くことができる最も魅力的な国です。カタールと日本の経済関係は多様な戦略的分野における相互の投資のうえに築かれています。現在、30社を超える日本企業がカタール国内でエネルギーやインフラ部門を中心に操業しています。

これらの協業は、医療、農業、情報技術（IT）など双方にとって有益な分野にも広がっています。両国は独自の強みを活かして、知識の交換を促進し、技術的進歩を推進し、また革新的なソリューションを開発しています。このパートナーシップは、両国が共有する強みと専門知識を活用して、イノベーションを加速し、貿易を拡大し、投資機会を向上させることに結びつけることで、両国の企業に利益をもたらし、カタールも日本も同様に経済成長が促進されることを目指しています。

国際的イベントの主催とインフラの整備拡大

カタールがFIFAワールドカップ2022年大会を成功裏に主催したことは、そのインフラ整備の能力だけでなく、活気に満ち、かつ世界経済とつながっているというビジョンを示し、国家発展におけるひとつの重要な節目となりました。私たちは、世界トップクラスの観光やビジネスのための施設を提供するため、インフラ環境を大きく変えました。日本のみなさんの専門知識が、ドーハメトロやハマド国際空港などの大規模プロジェクトでは重要な役割を果たし、人や物の移動に関する交通や乗り継ぎにおける高いスタンダードを打ち立てました。日本航空のドーハと東京間の直行便の就航といった取り組みは、文化、観光、ビジネス面での交流をさらに深め、両国の関係強化という共通ビジョンの重要性を強調しています。こうした基盤事業によって、カタールは今や、中東地域におけるインフラ開発の模範的な存在であり、また国際的なイベントの開催地として際立った存在になっています。



(提供：カタール大使館)

日本のビジネスリーダーにとってのチャンス

カタールは魅力的な投資環境を保証し、また経済の多角化を促進するため、さまざまなインセンティブを提供し、外国投資を誘致しています。これには、最大10年間の免税、事業に必要な機械・設備・原材料の輸入に対する関税の免除が含まれます。また事業用地は、最長50年の長期リースの下で割り当てられ、更新も可能です。外国投資家は、特定の分野では100%の資本を所有することを許可されており、利益や資産をどのような通貨でも海外に送金する自由も保証されています。また、収用やそれに類する措置からの保護を保証しています。さらに、政府は投資促進局 (IPA Qatar) を通じ、外国投資家に対し税の優遇や公共料金の優遇など、直接的な支援も行っています。

投資促進局とジェットロとの間で最近締結された合意書 (MoU) は、両国間のパートナーシップを戦略的に強化するもので、再生可能エネルギーやデジタルトランスフォーメーション (DX) といった新興分野での協業を重視するものです。この合意書は、投資手続きを簡素化し、それによって日本企業がカタール市場へ円滑に参入し、拡大するための道筋を提供しています。またこうした企業は、5年間の免税措置とライセンス更新の免除などのさまざまなインセンティブの恩恵を享受できます。

さらに、Jusoorによって始まった「Mustaqill」と呼ばれるプログラムは、世界中の起業家や才能ある人々に長期滞在ビザと居留許可を提供し、包括的なビジネス環境を発展させるというカタールのコミットメントを力強く支えるものです。世界が前進している中で、カタールは多様性に富む、知識集約型経済への移行を急加速させています。

第3期国家発展戦略 (2024~30年) は、年4%の経済成長、GDPの1.5%を研究開発に充てる目標、そして労働生産性の向上など、壮大な目標を掲げています。こうした取り組みは、日本の投資家に対し、カタールの知識主導型経済の未来への移行に参加し、貢献するという非常に大きなチャンスを提供しています。カタールはまた、外国直接投資に約1,000億ドルの目標を打ち立て、製造業、物流、観光のような重要分野を大きく成長させようと考えています。

投資促進局は、さまざまな革新的な投資ソリューション、政府の支援策、そして持続可能なビジネス環境を提供し、日本企業にとっての成長と成功の新しい道を提示しています。日本のビジネスリーダーには、繁栄ある未来のためにカタールが共有するビジョンに沿いつつ、ダイナミックに変化するカタールの投資環境をぜひ探求してほしいこと、またカタールへの投資は、持続可能な経済成長と技術革新へ貢献しながら、活況を呈する市場に参入し、両国がともに享受する成功への基盤を固めることを意味すると思います。

カタールの次世代の視点

カタールの次世代は、二国間の歴史的な強いつながりと戦略的パートナーシップを基盤として、投資、イノベーション、協業をますます重視しています。この関係は、エネルギー、貿易、技術、教育を含む複数の分野での協力により、さらに強化されています。

カタールの若者たちは、国家経済を牽引するためにイノベーションと技術の重要性を認識し、AIやロボティクスのような先端技術分野での日本との協業に特に強い関心を寄せています。この協力関係は、次世代のスキルと能力を育むのに重要な役割を果たしている学術的交流と教育プログラムを通じて支えられています。

「Startup Qatar」という取り組みについては、カタールのイノベーション・エコシステムを強化し、若い起業家たちの大志を支える主要なプログラムです。投資促進局によって立ち上げられたこの取り組みは、統合されたオンラインプラットフォームを通じ、スタートアップ企業がカタールに拠点を設立し、拡大するために必要なリソースとサポートを提供しています。このプログラムは「Qatar Web Summit 2024」の会期中にわずか6日間で3,000人を超える来場者を集め、カタールの活気に満ちた起業家支援エコシステムに世界中の関心が集まっていることを明確に示しました。

「Startup Qatar」のような取り組みは、才能ある人々を引き寄せ、カタールの若者たちと日本企業が共同でイノベーションと投資を行う大きな可能性を見出すことのできる分野での、技術主導型の成長を促進することを目的としています。こうした取り組みは、カタールが活気に満ちた持続可能なビジネス環境を創出し、この国を起業家精神と技術革新の地域を先導する拠点として位置づけるというカタールのコミットメントを際立たせています。

世界の観光地としてのカタール

カタールは、2030年までに年間600万人の訪問者を達成し、世界の主要な観光地としての地位を確立することを目標としています。この壮大な目標を実現するため、アクセスの向上、インフラの整備拡大、国際的なプロモーションに重点を置いた包括的な戦略を採用しています。簡素化されたビザ手続きにより、カタールは訪問者が世界中から簡単にアクセスできる、世界で最も入国しやすい国の一つになりました。

カタールの世界的な魅力は、「FIFA ワールドカップ2022」や「ドーハ国際園芸博覧会2023」のような著名なイベントを主催することによって際立っており、豊かな伝統的な遺産と現代的な催しが継ぎ目なく一体となったスポーツや文化のダイナミックな拠点としての地位を確固たるものにしていきます。

また、ラグジュアリーなホテルや国立カタール博物館といった文化的なランドマーク、効率的なドーハメトロといった設備が整備され、観光インフラへの多大な投資により、訪問者に対して世界トップクラスの体験を提供しています。

カタールは、今後5年間でスポーツと文化のグローバルな拠点としての地位を確立するという揺るぎない

筆者紹介

ジャベル ジャララ アルマリ駐日カタール国特命全権大使
1974年3月28日、カタール国のドーハに生まれ、米国セント・トーマス大学でコンピュータープログラミングシステムの修士号を取得。その後、カタール大学のアドミニストレーションエコノミックカレッジで会計学の学士号を取得。1996年に外務省に入省し、行政・財務、情報・調査などさまざまな部署で経験を積む。2015年に在スペインカタール国大使館参事官に任命され、その後2017年に全権公使に昇進。2018年に在コートジボワールカタール国特命全権大使に任命され、2024年4月より現職。

駐日カタール国大使として、アルマリ大使はカタール国と日本の経済協力、文化交流、学術パートナーシップの促進に積極的に取り組んでいる。

コミットメントを反映し、一連の大規模なスポーツや文化イベントを主催するための準備を続けています。注目されるイベントは、①起業家、投資家、テクノロジーをリードする人々を一堂に会し、イノベーションの未来を探る、グローバルなテクノロジー会議「Web サミット 2025」、②2023年大会の大成功を受けて開催される「AFCアジアカップ2027」、③カタールで初開催となる世界的な大会である「FIBAバスケットボールワールドカップ2027」、そして④アジア最大のスポーツイベントである「アジア競技大会2030」などがあります。参加者や観客にとってここにしかない体験をしてもらうため、カタールはスタジアムやトレーニングセンター、ホテルなどのホスピタリティ施設を積極的に整備し、世界トップクラスのイベントを実現するための取り組みを一層強化しています。

カタールの国際的なプロモーション活動のハイライトとして、「Qatar More Than a Feeling (カタール、より多くの感動を)」キャンペーンがあります。このキャンペーンでは、家族旅行や富裕層の旅行者に特化した、他にはない魅力を紹介しています。また、Es' hailSatとの提携で開設されたTV番組「Visit Qatar」は、中東および北アフリカ全域の視聴者に向けて、カタールのバラエティに富んだ観光スポットを紹介しています。

このような国際的なパートナーシップと、家族連れに優しい観光や文化観光に注力することで、カタールは、中東地域における観光の新しいスタンダードを打ち立てています。これは経済の多様化を促進するとともに、「カタール国家ビジョン2030」にも合致しており、より繁栄し持続可能な未来への道を描いています。

両国が共有する未来：持続的なパートナーシップと発展へのコミットメント

カタールは、日本との末永いパートナーシップに対するコミットメントを揺るぐことなく維持しています。この関係は、両国が共有する価値観、相互の尊重、そして繁栄し持続可能な未来への共通のビジョンに基づいたものです。カタールと日本がこの絆をさらに深め、経済協力を拡大し、新たな共通の関心分野を探求するなかで、両国関係がますます発展し、国際社会における進歩と協力の目標であり続けるものと確信しています。



(提供：カタール大使館)

#